

# 2017（平成29）年度 事業報告書

社会福祉法人山鳩会  
みどりの森

## 1. 理念・方針

### （1）法人理念

#### ①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

#### ②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

#### ③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

#### ④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するために、お互いにメリットのある関わりを築いていく。

### （2）中期目標（平成29年度～平成31年度）

地域に根付いた生産活動や、さまざまな自治会行事・活動に参加しながら、認め合い、地域の社会資源としての存在感を発揮できるようになる。

### （3）基本方針

#### ①地域の方と交流できる行事を開催しながら地域の行事にもいろいろな形で参加し、盛り上げる工夫を行なう。また有益な社会資源としての役割を担えるよう努める。

・さまざまな祭りに誘いが来るなど地域の方の喜んで頂けた。

#### ②昨年より始めた焼き菓子（自主生産品）について、品質の向上と販路の拡大を図る。

・フードコーディネーター、コンサルの力を借りてブラッシュアップできた。また、新商品もでき、パッケージも改良され品質は向上できた。販路も新たな販売先、イベントを開拓でき、認められるようになってきた。

#### ③地元の畑で地域の人と関わりながら、一連の農作業体験を通して新しい関係を作り、いろいろな事を学び、健康な心身を作る。

・交流や経験から学ぶことが多かった。また健康づくりには役立った。

#### ④継続して通所できるよう、健康の維持・増進と病気の早期発見に努める。

・婦人科検診の取り組みは拡大が図れた。早期発見により事なきを得た利用者があり、必要性を改めて感じた。

#### ⑤就労している人が継続して働くことができるよう支援を充実させると共に、これから希望する人に、短時間就労などのニーズに応じた職場開拓も行なっていく。

・2件取り組めた。定期的に見学や聞き取り支援の必要を感じる。また開拓したが長期継続にならなかった人もいた。希望者に対する息の長い支援をしていきたい。

## 2. 施設概要

- (1) 施設種別 指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）  
(2) 利用定員 31名（平成29年度当初利用者数34名・途中1名退所、1名入所）  
(3) 開所年月 平成21年4月  
(4) 施設規模 敷地面積  
延床面積 178.86㎡  
建物構造 鉄骨造り（地上2階1階使用）  
賃貸区分 民間より賃貸

## 3. 職員構成

### (1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1名
サービス管理責任者	1名（兼務）
支援員（常勤職員）	4名
保育士（常勤職員）	0名
調理員（常勤職員）	0名
事務員（非常勤職員）	1名
支援員（非常勤職員）	6名
保育士（非常勤職員）	0名
調理員（非常勤職員）	3名
看護師（非常勤職員）	0名
理学療法士（非常勤職員）	0名
作業療法士（非常勤職員）	0名
合 計	15名

### (2) 嘱託

医師（4回／年）	1名
看護師（0回／年）	0名
理学療法士（4回／年）	1名
作業療法士（0回／月）	0名
合 計	2名

## 4. 利用者状況

### (1) 障害程度

	1	2	3	4	なし	合計
愛の手帳	1名	11名	15名	7名	0名	34名
身障手帳	1名	2名	0名	1名	0名	4名
精神保健手帳	0名	0名	0名	0名	0名	0名

※身障手帳、精神保健手帳と重複

(2) 年齢構成 (平均年齢 33.9歳)

	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計
男	0名	11名	4名	7名	0名	0名	22名
女	0名	5名	5名	1名	0名	1名	12名
合計	0名	16名	9名	8名	0名	1名	34名

最低年齢 男…21歳 女…21歳 最高年齢 男…48歳 女…75歳

平均年齢 男…33.8歳 女…34.1歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	清瀬市	杉並区		合計
32名	1名	1名		34名

(4) 障害程度区分

区分	1	2	3	4	5	6	未定	合計
人数	0名	2名	6名	6名	4名	0名	16名	34名

(5) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
退所者	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
月末数	34	34	34	34	34	34	34	33	33	33	33	34	404
延べ日数	748	782	748	782	782	748	782	726	759	759	660	782	9514
延べ人数	679	685	662	705	675	649	639	658	708	668	608	732	8356
出席率(定員)	99.6	96.1	97.1	98.9	94.7	95.2	93.7	96.5	99.3	93.7	93.4	102.7	96.7
出勤率(現員)	90.8	87.6	88.5	90.2	86.3	96.8	85.4	90.6	93.3	88.0	92.1	96.4	89.7

5. 日課

(1) 月～金曜日

時間	内容
8:30～9:00	朝礼・ウォーキング・ストレッチ
9:00～12:00	作業
12:00～13:00	昼食・昼休み
13:00～15:30	作業
15:30～15:45	清掃
15:45～16:00	終礼・帰宅

(2) 土曜日

8:30～9:00	朝礼・ストレッチ
9:00～11:20	作業
11:20～11:30	作業片付け
11:30～12:00	昼食・終礼・帰宅

※状況により変更あり

## 6. 重点目標

### (1) 地域の有効な社会資源としての役割を担う。

- ①地域参加の形を拡げていく。施設全体でにぎやかに参加し地域の行事を盛り上げると共に、グリーンバンドの活用、野菜販売などを通して地域と新しい関係を作っていく。  
—地域資源回収・ミニバザー・ウォーキング・環境美化（ゴミ拾い）・諏訪町運動会・白十字フリーマーケット・ふれあいカーニバル・地域サークルとのコラボ etc. —  
・地域の人達に認可されていると感じたが、関わり方は今後の課題。
- ②地域のボランティアを受け入れると共に地域のサークルと連携するなど、関わる団体の層を拡げ、相互に利益のある関係を築く。  
・特定のボラは継続できており、利用者との関係も良く、とても助かった。今後もっと労働力としてではなく、お互いにメリットのある関係を築きたい。
- ③みどりの森便りを適宜発行し、掲示板も活用して情報を発信していく。また法人の広報紙等を用いて法人全体の活動も知って頂けるよう努める。  
・玄関前に設置している便りを立ち止まって見てくださる方がいた。法人内向けと法人外向けの内容を企画し、全体の活動を分かってもらえるようにしたい。
- ④環境美化に自主的に取り組み、地域貢献する。  
・貢献まではいっていない。朝のウォーキングの方が貢献度として高かった。

### (2) 健康・衛生

- ①定期健康診断・歯科検診・感染症予防注射・歯磨き指導・体重血圧測定その他、婦人科検診（子宮がん）を行い、病期の早期発見に努めて家庭と情報を共有し、必要に応じて医療につなげる  
・子宮ガン検診では結果が出て、早期発見につながった。  
・定期健康診断（ひなたの道にて）白十字病院 7/11  
インフルエンザワクチン接種 むらせ医院 奥平Dr 11/9  
歯科検診 折笠Dr. 1/25  
歯磨き指導 多摩小平保健所歯科衛生士による 1/30  
嘱託医相談 内科（むらせ医院奥平Dr）6/8・8/3・11/9・2/8  
理学療法（栗原PT） 7/15・9/2・12/19・2/10
- ②感染症予防のため、定期的に消毒し衛生環境を整える。また流行する季節には毎朝検温を行ない健康状態を確認するなど拡散防止にも努める。  
・感染の疑いがある人の居場所など、環境上の課題も多いが実施できた。
- ③理学療法士による個々のプログラムの実施等、身体機能の維持向上を図りながら、定期的にマッサージや笑いヨガも取り入れ、リラックスできる時間を作る。  
・身体機能の維持向上のアドバイスを含め、笑いヨガなどリラックスできる機会を作る事ができた。またマッサージ等を通じて利用者満足度を向上させることができた。笑いヨガは利用者が楽しめたのでスポーツの日に、年2回程度取り入れたいPTの立てた個々のプログラムは、残念ながらあまり続かなかった。個別支援計画で実施していきたい。
- ④作業開始前に個々の状況に合わせて地域周辺をウォーキング、ストレッチして身体を動かす。  
・1年を通して実施できたが、ストレッチはもう少し本気を出す必要がある。

(3) 作業・就労活動

- ①昨年より始めた焼き菓子の品質向上と販路の拡大を図る。
  - ・ハード面では充実してきた。品質向上や販路の拡大もかなり図れた。また昨年の売り上げを大きく上回った。マフィンでは手順をきちんと覚え利用者が早く出来るようになった。販売に行くには普段できないお金のやり取り、接客等良い経験ができた。
- ②農作業を請負、指導を受けながら土を作り、種をまき、草取り・水やり・収穫・販売までの一連の流れを体験する。
  - ・生産から収穫体験、販売までの流れを体験でき、利用者には良い経験を積めたが、季節により作業量や内容が変わり、対応していくのがかなり難しかった。
- ③現在就労している人が継続して働き続けられるよう関係機関と連携しフォローしていく。またニーズに応じて外部実習や短時間雇用の開拓・支援を行なう。
  - ・いろいろな機関と相互連携することができた。また、続かなかったが外部実習を通して、短時間就労に結び付けることもできた。
- ④業者との良好な関係を継続し、安定した工賃収入が得られるようにしていく。
  - ・良好な関係の構築により、新たな機会（新光の期間拡大）確保につながった。とてもありがたかった。受注作業は減少したが、他でフォローできた。

事業所内活動

(単位:円)

	受注・納品先	作業内容	稼働日	参加者	平成28年度収入	平成29年度収入
自主製品	ハナショウブ・白十字ホーム・産業祭他	焼き菓子	週2回	10名	579,260	1,137,960
清掃事業	西武・武蔵野パートナーズ	中央公園清掃	月9回	8名	731,484	732,500
	白十字ホーム、ハトホーム	施設内の草取り	月6回	8名	54,600	61,710
受託事業	(福)平成の里	封入・シール貼り	随時	全員	1,273,323	1,236,517
	(株)新日本包装	箱折り・組み立て	随時	全員	392,537	279,002
	(株)プロメディア	封入・シール貼り	随時	全員	263,080	495,185
	(株)八基通商	食品包装	随時	全員	4,315	5,420
	(株)新光	ダンボール組立て	随時	全員	75,000	125,000
	(株)エネクスト	封入	随時	全員	356,881	149,429
	ばど	ポスティング	随時	全員	52,001	58,725
	(福)トーコロ青葉他	封入	随時	全員	66,816	0
	かきの木農園	農作業	随時	全員	0	116,025
その他事業	市内・近隣地域	古紙・リサイクル品回収	週2~3回	8名	2,166,937	2,863,906
	ミニバザー	リサイクル販売	月2回	8名	679,414	903,217
小計①					6,695,648	8,164,596

## パート・アルバイト

(単位:円)

	受入先	作業内容	稼働日	参加者	平成28年度収入	平成29年度収入
パート契約	ライフサポートつばさ	清掃	週5日	1名	565,232	584,175
パート契約	セイコー物流	倉庫業務	週5日	1名	275,765	931,029
パート契約	ケイシン	資源回収	週2日	1名	0	113,565
小計②					840,997	1,628,769
合計①+②					7,536,645	9,79,3,365

## 工賃支払実績

(単位:円)

	総額	平均額	最高額	最低額	パート・アルバイト
4月	552,180	16,733	24,310	1,640	130,598
5月	578,130	17,520	23,960	2,670	113,672
6月	496,430	150,43	22,880	3,240	134,376
賞与	412,000	12,118	16,000	3,000	
7月	482,700	14,627	21,750	3,290	129,466
8月	488,200	14,794	22,160	3,940	149,715
9月	476,710	14,446	22,130	4,060	142,744
10月	539,780	16,357	25,760	4,550	154,355
11月	595,410	18,043	28,560	3,890	162,318
12月	601,920	18,240	28,490	4,060	133,905
賞与	462,000	14,000	18,000	6,000	
1月	653,030	19,789	26,940	2,930	121,180
2月	465,800	14,115	21,580	3,880	134,420
3月	482,320	14,615	21,870	3,540	122,020
合計	7,286,610	220,440	324,390	50,690	1,628,769
平均	18,401	18,370	27,032	4,224	135,731

※パート・アルバイトについては本人へ直接支給される。

## (4) 給食

- ①昨年に続いて季節に合わせた装飾や演出を行ない、給食を楽しく美味しく食べられるよう工夫する。
  - ・季節に応じたテーブルクロス入れ替えや壁の装飾ができ、とても好評だったが、季節に間に合わない時もあったのが残念だった。
- ②嗜好調査や自治会で利用者本人から出た意見をメニューに反映すると共に、定期的に新しいメニューも提案していく。
  - ・新しいメニューに反映するのが難しかった。写真などでリクエストの充実を図りたい。
- ③自分たちで栽培・収穫した野菜を給食に取り入れ、季節感を味わう。

・使う野菜の説明などがあつたほうが自分たちの育てている感じが伝わるように思う

④栄養基準量（一人当たりの栄養基準量）

熱量	蛋白質	脂肪	カルシウム	ビタミン			
				A	B1	B2	C
746Kal	21.4g	23.1g	178mg	386μg	0.6mg	0.5mg	54mg

(5) 自治会活動

①利用者が日々感じている事を発信する場を提供し、要望などを具体化するための支援を行なう。また自分の意見が取り上げられるという体験を通し、みどりの森の日課に興味を持ち積極的に過ごす事ができるよう支援していく。

・行事前にさまざまな意見を聞き取ったり、みどりの森として大切にしていきたいものを確認していった。

(6) 行事

①クラブ活動（隔月実施）5/19、7/28、9/15、11/17、1/19、3/16

種目	主な活動場所	活動内容
ボウリング	久米川ボウル	ボウリング場にて各自2ゲーム楽しむ
カラオケ	ビッグエコー	2部屋に分かれて自由にカラオケを楽しむ、
音楽	みどりの森作業室	ボラの講師を招き、生演奏に合わせた歌、音楽ゲーム等
軽運動 ダンス	自治会館・集会所	八国山ウォーキングや、ストレッチ・ダンス・組体操などで身体を動かす。

②年間行事

日付	内容	場所	目的	人数
4/1	デザート作り	みどりの森	雨で流れた花見の代わりに交流会	34名
4/14	日帰りバス旅行	栃木方面	保護者と親睦を深め、利用者の情報収集に努める	55名
5/11 ~12	宿泊旅行「TDR」	TDR	仲間と楽しみや感動を分かち合い、集団活動を通して社会ルールやマナー、配慮、思いやりの経験を積む	29名
6/11	Tボール大会	化成小 校庭	地域交流。親睦を深めながら、みどりの森の自主製品を知って頂く機会とする	40名
7/19 ~21	宿泊旅行「静岡」	静岡方面	日常と異なる環境で団体行動を行ない、協力し合う気持ちを育む。また静岡県の風土を体験する。	24名
8/26	暑気払い	久米川ボウル	身体を動かし楽しみつつ、保護者との交流を通して利用者支援に活かす	55名
8/29	G外出「映画鑑賞」	立川方面	QOL向上を目的とし、外食や映画鑑賞を仲間と共に楽しむことによって休日の余暇活動に活かせるようにする。	7名
9/10	諏訪町運動会	化成小学校	地域交流、体力作り	29名
9/28	G外出「豊島園」	豊島園	個々に役割、目標を持ち、マナーを守りながら公共交通機関の利用をし、仲間意識を高める	10名
10/ 18	G外出「御岳山」	御岳山周辺	余暇を楽しみつつ、参加者で協力し合い山頂を目指す	7名
10/ 22	八国山フリーマーケット	白十字ホーム	市内の福祉関係者と交流して関係を高めると共に、グリーンバンド発表の場とする。さらに自主生産品の販売を通してみどりの森に来て頂くきっかけを作る	40名

11/3	共催運動会	八坂小学校	身体を動かしながら各施設の交流を図る。また昼休みはグリーンバンドの発表の機会として活用する。	50名
11/19	諏訪町ふれあいカーニバル	社会福祉センター	バンド演奏。模擬店で地域のイベントに参加し、地域貢献する	16名
12/25	クリスマス忘年会	みどりの森	1年を振り返り、ねぎらい、楽しむ。就労者の表彰	51名
1/14	成人を祝う会	中央公民館	卒業後の節目を祝う	30名
1/27	施設まつり	みどりの森	地域交流と相互理解。バザー一品等販売	50名
2/1	G外出「イチゴ狩りとバーベキュー」	サイボクハム、狭山ペリーランド	交響交通機関を使って目的地まで安全に移動し、日常と違う雰囲気の中でバーベキューと季節の果物を味わい外出を楽しむ	12名
2/10	古本まつり	福祉センター	地域(社協)のイベントの盛り上げと協力、自主製品他の販売	5名
2/10	豊島屋フェス	豊島屋	地域のイベントの盛り上げと協力、自主製品他の販売	3名
2/14	山鳩父母会茶話会	サンバルネ	グリーンバンドの発表	11名
2/6、27	防災体験	立川防災館	社会資源を利用し実践的な防災体験を行なう	47名
3/24	納会	サンバルネ	1年間の総括	78名

## 7. 防災訓練

### (1) 防災

①災害時の利用者の安全を図るため、防災計画に基づき月1回防災訓練を実施する他、年に1回防災館でのリアルな防災体験に参加して意識を高める。また災害備蓄食料を使った防災体験も年間計画に盛り込んでいく。

・地震ばかりでなく、火事・大雪・台風など色々なシチュエーションもできたら良い。また来年は献立表に載せてみたい。

②地域の自治会、福祉協力員等関係機関と連携し、非常時に相互支援ができる協力体制をとる。

・未実施。地域の自衛消防隊に協力できることがあれば共助していきたい。

・防災設備点検 (株)テクノコーポレーション 4月、10月

### (2) リスクマネジメント

①事故対応マニュアルを施設内に掲示すると共にワゴン車・トラックにも常備し、緊急時に対応できるよう努める。

・常備した。マニュアルだけでなくドライブレコーダー設置したので、事故の時役立つと思う。また台風やイレギュラーな送迎に対応する為送迎ルートの確認を行った。

②安全運転管理者を中心に職員の運転チェックを年2回程度行い、安全運転への意識を恒常化していく。

・新人を中心に実施できた。通常だけでなく、雪が降った時の対応も検討したい。

③施設内のリスク軽減のため、作業後に安全な環境作りのための整理整頓を実施する。

・定期的には大掃除と環境整備を実施し、作業棚、その他の棚も整理整頓された。ただ裏口の前がすぐに荷物でいっぱいになっていたのが気がつきたい。

④職員間で情報共有し、定期的にヒヤリハットの再確認を行なう。

・ノートはあるが活用されなかった。情報共有は朝夕の打ち合わせにて行った。

## 8. 実習生の受け入れ

(1) 特別支援学校・在宅者の受け入れを行ない、将来の進路選択につながる機会を提供する。

(夏休みなどを利用した任意実習を含む)

- ・数名に行なった。次年度につながるよう継続したい。

(2) 大学や福祉養成機関からの実習を受け入れ、将来福祉の職場で働く人を増やすよう育成に努める。

- ・介護等体験 5日間 × 20名
- 市立2中より職場体験2日間 3名
- 市立4中より職場体験2日間 2名

## 9. 父母会、親の会との連携

(1) 父母会

①保護者会を開いて(月1回)施設に対する理解を深め、協力頂けるよう努める。

- ・職員体制の関係で保護者会への職員参加はできなかったが、担当が保護者の方と話ができた良い機会となっていた。

②個別面談(年1回)や保護者参加の行事を通して、相互に情報交換と交流を図る。

- ・面談実施。個別支援計画を立てる都合上次年度はもう少し時期を早めたい。

③みどりの森便りを月1回発行し、施設での日常の様子を伝えていく。

- ・認知されていると感じた。毎月カラーで写真を多用することで、視覚的にイメージしやすくなったとの意見を頂いた。

(2) 親の会

行事部会を中心に、双方の連携を図り、円滑に進めていく。

- ・協働できた。円滑に関係を作れた。

## 10. 職員研修

①福祉職員として現場で活かせる専門分野の知識や技術を習得すると共に、一社会人として知っておくべき常識やビジネスマナーも習得する。

- ・全体研修で電話の応対等学ぶ事ができた。研修部会の内容を踏まえて設定していきたい。

②研修部会を中心にした全体研修会で法人の方針などを確認すると共に、施設間の交流や情報交換を行なう。

研修名	実施日	主催	実施場所	参加者
全体職員研修	4月5日	社会福祉法人山鳩会	ひなたの道	全員
アイシングクッキー教室	4月28日	折笠ひとみ JSA 認定講師	折笠医院2F	柳葉ひかり
食品衛生の最新情報と食中毒防止	5月18日	東京都多摩小平保健所	東京都多摩小平保健所	岩崎豊子
アイシングクッキー教室	6月8日	折笠ひとみ JSA 認定講師	みどりの森	大久保亜弓 井上典子
安全運転管理者講習	6月29日	東京都交通安全協会	オリンパスホール八王子	田中英史
全国知的障害関係施設長等会議	7月4日~5日	日本知的障害者福祉協会	東京国際フォーラム	真崎ひろみ
アイシングクッキー教室	9月6日	折笠ひとみ JSA 認定講師	みどりの森	大久保亜弓 井上典子 中尾万里子
食からの健康づくりシンポジウム	9月7日	東京都多摩小平保健所	東京都多摩小平保健所	岩崎豊子

工賃アップセミナー	9月26日	東京都福祉保健局	東京都福祉保健局病院 経営本部研修センター	大竹正史
中堅職員重点テーマ強化 研修	10月4日～ 5日	東京都福祉人材センター研修室	東京都社会福祉保健医療 研修センター	前森直美
全体職員研修	10月5日	社会福祉法人山鳩会	ひなたの道	全員
食品衛生実務講習会	10月12日	東京都多摩小平保健所	東久留米市立生涯学習 センター	井上典子
タイムマネジメントを活か した働きやすい職場づくり	11月8日	東京都福祉人材センター研修室	東京都社会福祉保健医療 研修センター	真崎ひろみ
食品衛生実務講習会	11月8日	東京都多摩小平保健所	ルネ小平	岩崎豊子
障害者虐待防止・権利擁 護研修(施設職員コース)	11月21日 12月4日	東京都福祉保健財団	日本教育会館	大久保亜弓
個別支援計画作りを再考 する	1月29日	東京都障害者通所活動施設職員 研修会	国立オリンピック記念青 少年総合センター	大竹正史
食品の表示講習会	2月22日	東京都多摩小平保健所	東京都多摩小平保健所	前森直美

## 11. 会議

種 目	回 数	内 容
職員会議	1回/月	行事実施、C対応等について
評価・アセスメント会議	2回/年	アセスメントの見直し、支援計画について検討
給食会議	1回/月	自治会等で出た利用者による希望メニューの検討、課題等
ケース会議	3ケース/月	ケース個々について検討
生活・作業場面会議	1回/月	各場面等について課題・検討
自主生産会議	1回/月	自主生産について検討

## 12. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、セクシャルハラスメント防止

### (1) 苦情解決

- ①規定に基づき、問題が発生した場合は親切丁寧迅速に対応し問題解決にあたる。
- ②担当窓口及び第三者委員を設置し、丁寧に対応する。
  - ・利用者に周知できるよう自治会で取り上げて話し合ったが浸透するには至っていない。
  - ・利用者が第三者委員の赤木さんに会う機会を設けた。

### (2) 個人情報保護

- 規定、個人情報提供同意書に基づき、個人の情報を提供する際は慎重に取り扱い、データの管理を適切且つ安全に取り扱う。
- ・鍵のついた所に保存し、文書の処分はシュレッダーを徹底すると共に普段から折りに触れて職場全体に話して浸透させた。

### (3) 虐待防止

- 法人研修部会を中心に取り組み、また担当者を設置して利用者の人権を守り、主体性を尊重した支援を行なう。
- ・担当者が複数の研修を受講し、職場の中で伝えた。

#### (4) セクシャルハラスメント防止

男女一人ずつ担当者进行、防止・対応にあたる。

- ・通常より同性による支援を基本としているが、特に問題となることがなかった。

#### 苦情解決

	氏名	連絡先
責任者	真崎 ひろみ	395-3210
担当者	田中 英史	395-3210
第三者委員	赤木 ふき子	395-3210

#### セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者	真崎 ひろみ	395-3210
担当者（男性）	大竹 正史	395-3210
担当者（女性）	前森 直美	395-3210

#### 虐待防止

	氏名	連絡先
責任者	真崎 ひろみ	395-3210
担当者	大久保 亜弓	395-3210

#### 14. 人事考課

目標面接	中間面接	10月
	期末面接	3月
振り返りシート		3月